※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　学　国際文化科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
学 国際文化	（学）中国語文化Ⅰ	2	2	《新版》できる・つたわる コミュニケーション中国語 中国語検定準４級トレーニング ブック

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、中国語を初めて学ぶ受講生を対象に、発音の基礎からスタートし、基本的な語彙や文法事項を段階的に学んでいく。授業では様々なタスクを通じて、「読む・聞く・話す・書く」の４技能をバランスよく身につけると同時に、中国の文化や歴史、社会事情等についても学び、中国及び中国語に広く親しむ。

2 学習の到達目標

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・事物に関する紹介や会話などを聞いて，情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・リズムやイントネーションなどの中国語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。	・説明や会話文などを読んで，情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。	・聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・リズムやイントネーションなどの中国語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話すことができる。	・簡単な語句や文を用いて自分のことを紹介できる ・身近なトピックや出来事について既習の語彙・表現を使って自分の意見を述べることができる。 ・リズムやイントネーションなどの中国語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話すことができる。	・聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書くことができる。 ・内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて活用できる知識・技能を身に着けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	コミュニケーションを行う場所・目的・状況などに応じて日常的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝えあったりしている。	聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら主体的に自分の意見や考えなどを話したり書いたりしてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	発音 第１課　あいさつする 第２課　名前を尋ねる 第３課　食べたいものを尋ねる 第４課　近況を尋ねる 復習　第１課～第４課 第５課　予定を尋ねる	聞くこと	a: 中国語の音声の特徴を理解している。 b: 身近な話題（自己紹介や食べ物の好み）についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取っている。 c: 身近な話題（自己紹介や食べ物の好み）についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 文の構造を理解しながら読むことができる。 b: 身近な話題（自己紹介や食べ物の好み）に関する中国語で書かれた文章を読み、要点をとらえることができる。 c: 身近な話題（自己紹介や食べ物の好み）に関する中国語で書かれた文章を読み、要点をとらえようとしている。	小テスト
		話すこと （やり取り）	a: 自己紹介や食べ物の好みを伝えるために必要な話す技能を身に付けている。 b: 自己紹介や食べ物の好みについて簡単な語句や文を用いて話している。 c: 自己紹介や食べ物の好みについて簡単な語句や文を用いて話そうとしている。	小テスト 授業の取り組み
		書くこと	a: 自己紹介や食べ物の好みを伝えるために必要な書く技能を身に付けている。 b: 自己紹介や食べ物の好みについて簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 自己紹介や食べ物の好みについて簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査
	期末考査			
2	第６課　場所を尋ねる 第７課　注文する 総復習	聞くこと	a: 身近な会話（場所を尋ねる、注文に関する会話）から必要な情報を聞き取ることができる。 b: 身近な会話（場所を尋ねる、注文に関する会話）から、話の要点をとらえることができる。 c: 身近な会話（場所を尋ねる、注文に関する会話）から、話の要点をとらえようとしている。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 文法（指示代名詞、存在を表す「在」など）のポイントを理解し、会話を理解することができる。 b: 身近な会話（場所を訪ねる、注文に関する会話）について 内容を理解し、要点や概要を伝え合うことができる。 c: 身近な会話（場所を訪ねる、注文に関する会話）について 内容を理解し、要点や概要を伝え合おうとしている。	小テスト
		話すこと （やり取り）	a: 身近な話題（場所を訪ねる、注文に関する会話）について、効果的な表現や語彙を使い、適切な文法を用いて話すことができる。 b: 身近な話題（場所を訪ねる、注文に関する会話）について、やり取りを続けることができる。 c: 自らの考えや体験を伝えようとする積極的な態度や、相手の話すことも理解しようとする意欲的な態度が見られる。	小テスト 授業の取り組み
		書くこと	a: 本文の内容から発展させて、自分の考えを適切に伝えるために文法や語彙、表現を効果的に使うことができる。 b: 本文の内容から発展させて、実際の場面を想定して、自分の考えを伝えるために要点をわかりやすくまとめ伝えることができる。 c: 実際の場面を想定して、自分の考えを意欲的に伝えようとする態度が見られる。	定期考査
	中間考査			
	第８課　値段を交渉する 復習２　第５課～第８課 第９課　出来	聞くこと	a: 身近な話題（値段を交渉する、出来事を尋ねる）から必要な情報を聞き取ることができる。 b: 身近な話題（値段を交渉する、出来事を尋ねる）について、話の要点をとらえることができる。 c: 身近な話題（値段を交渉する、出来事を尋ねる）に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握し、主体的積極的にコミュニケーションをとろうとしている。	小テスト （リスニング）

※令和４年度以降入学生用

	事を尋ねる （暗唱指導）	読むこと	a: 文法（指示代名詞、量詞、連動文など）の意味と構造を理解し、本文を理解することができる。 b: 身近な話題（値段を交渉する、出来事を尋ねる）に関する会話を読み、ポイントを把握することができる。 c: 身近な話題（値段を交渉する、出来事を尋ねる）に関する会話を読み、意欲的に内容を理解しようとしている。	小テスト
		話すこと （やり取り） （発表）	a: 文法や語彙、表現を効果的に使い、中国語の並び順にも注意を払い、二人で会話することができる。 b: 身近な話題（値段を交渉する、出来事を尋ねる）について、やり取りを続けることができる。 c: 身近な話題（値段を交渉する、出来事を尋ねる）について、やり取りを続けようとしている。	小テスト 授業の取り組み 暗唱大会
		書くこと	a: 本文の内容から発展させて、自分の考えを適切に伝えるために文法や語彙、表現を効果的に使うことができる。 b: 本文の内容から発展させて、実際の場面を想定して、自分の考えを伝えるために要点をわかりやすくまとめ伝えることができる。 c: 実際の場面を想定して、自分の考えを意欲的に伝えようとする態度が見られる。	定期考査
	期末考査			
3	第 10課　出来事を尋ねる② 第 11課　希望を尋ねる①	聞くこと	a: 身近な話題（出来事を尋ねる、希望を尋ねる）から必要な情報を聞き取ることができる。 b: 身近な話題（出来事を尋ねる、希望を尋ねる）について、話の要点をとらえることができる。 c: 身近な話題（出来事を尋ねる、希望を尋ねる）に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握し、主体的積極的にコミュニケーションをとろうとしている。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 文法（様態補語、助動詞、前置詞など）の意味と構造を理解し、本文を理解することができる。 b: 身近な話題（出来事を尋ねる、希望を尋ねる）に関する会話を読み、ポイントを把握することができる。 c: 身近な話題（出来事を尋ねる、希望を尋ねる）に関する会話を読み、意欲的に内容を理解しようとしている。	小テスト
		話すこと （やり取り）	a: 中国語の音声や語彙、表現の理解を深め、適切な文法を活用して、話をすることができる。 b: 身近な話題（出来事を尋ねる、希望を尋ねる）について、やり取りを続けることができる。 c: 身近な話題（出来事を尋ねる、希望を尋ねる）について、やり取りを続けようとしている。	小テスト 授業の取り組み
		書くこと	a: 本文の内容から発展させて、自分の考えを適切に伝えるために文法や語彙、表現を効果的に使うことができる。 b: 本文の内容から発展させて、実際の場面を想定して、自分の考えを伝えるために要点をわかりやすくまとめ伝えることができる。 c: 実際の場面を想定して、自分の考えを意欲的に伝えようとする態度が見られる。	定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度